

笠岡市立竹喬美術館名品展

うつりゆく自然を描く 小野竹喬の世界

小野竹喬(1889-1979)は岡山県笠岡市出身の日本画家です。1903(明治36)年、14歳の時京都の竹内栖鳳に師事したのち、1979(昭和54)年に89歳で亡くなるまでの75年間、日本の自然を描き続けました。その制作姿勢は一貫しており、季節の移り変わりのなかで、日常にふと目にするささやかな自然の表情を、親密な視線で素直に捉え、鮮やかにそして明快に表現しています。特に晩冬から早春にかけての大地の装いや樹木の芽吹き、その萌しを「自然の香り」と称して、清澄に捉えています。また戦後の作品においては、夕焼けの茜空を題材として、時々刻々と変化する空や雲の様相を、心温まる色彩で柔和に表現しました。生涯にわたるさまざまな功績により、1976(昭和51)年には文化勲章を受章しています。

本展では、竹喬の故郷にある笠岡市立竹喬美術館が所蔵する名品、日本画約70点、素描約20点等により、自然表現の精華を紹介します。



《波切村》1918年 重要文化財 前期展示:10月4日(金)~14日(月)



《樹間の茜》1974年



《海》1971年

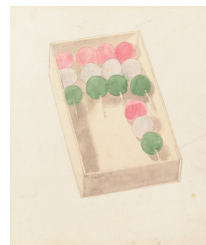


《あかあかと日は難面もあきの風(習作)》1976年

※特記のない作品は全期間展示



素描《田圃》1975年



素描《花見団子》1948年



《島二作》(冬の丘・早春)1916年



講演会 1

日 時: 10月4日(金)午後1時30分~3時
場 所: ハイビジョンホール
講 師: 上蘭四郎氏
(笠岡市立竹喬美術館元館長)
演 題: 小野竹喬絵画の魅力
定 員: 80人
参加費: 無料 参加方法: 当日先着順

講演会 2

日 時: 11月3日(日)午後1時30分~3時
場 所: ハイビジョンホール
講 師: 菅章氏
(大分市美術館前館長)
演 題: 小野竹喬~
作風における影響と展開の秘密
定 員: 80人
参加費: 無料 参加方法: 当日先着順

展示解説

日 時: 会期中毎週水曜日
午後2時~2時30分
場 所: 企画展示室
解 説: 美術館職員
備 考: 当日有効な特別展
観覧券が必要です

【交通案内】

バス

JR大分駅上野の森口(南口)バスのりばから
中心市街地循環バス「大分きやんバス」・
「大分市美術館方面行」約9分

タクシー

JR大分駅上野の森口(南口)から約5分

車

東九州自動車道/大分ICから約10分



大分市美術館
OITA ART MUSEUM

〒870-0835 大分市大字上野865番地
Tel 097-554-5800/Fax 097-554-5811



大分市美術館
ホームページ